

## アルバイトの話<sup>はなし</sup>

Dang Thanh Cruc  
(ダンタンチュック)

出身地：ベトナム

去年の7月の終わりに日本に来ました。最初のアルバイトは中華料理店でホールの仕事でした。そこは人気がある店です。特に仕事帰り、店のなかはいつも満席ですから店の外に多くのお客さんが待っています。待っているお客さんは紙に名前を書いておき、店を出たお客さんがいる時、店員が名前を呼んで空いているテーブルを案内してから入ることができます。

ある日満席の時、次待っていたお客さんの数は4人、2人、1人でした。中のお客さんは段々出ていきましたが、連続するテーブルが2つありませんでした。店のルールは3名様、4名様が入るには2つの連続するテーブルが必要です。ですから、4名様は入れなかったし、次の2名様1名様も入れなかったです。そのルールについて本当にわかりにくいと思いました。どうして空いているテーブルがあるのに次の2名様1名様は入ることができないのでしょうか。店のルールが難しくて窮屈でしょう。外にいるお客さんは焦っていないか、そんな質問が頭の中に浮かび続けます。私ならぜったい他の店に行って待ちませよ。

それで店長に聞いてみたら分かってきました。日本人にとって行列は当然です。すべてが順番通りでなければなりません。エレベーターの行列やトイレの行列も同様です。時間は誰にとっても平等に貴重なので、後から来た人が優先されることはありません。

2011年の地震と津波災害の時、救援物資を受け取るために日本人が静かに並んでいた場面を突然思い出しました。なるほど。行列は長い間日本文化の一部です。それに気づいたら最初の考えが恥ずかしくなりました。行列は先に来た人に敬意を示し、日本人の忍耐力を示す方法でもあります。

その話を通して、私は大変なことも耐えて努力し続ければ遅かれ早かれ望むものは達成できることを学びました。つまり、途中で諦めない人には良いことが訪れるということです。

ですから、皆さん先進国である日本で学ぶチャンスを待ち、日本語を学ぶだけでなく、日本の良き文化についても勉強しましょうね。